

令和5年度第5回寒川町介護保険運営協議会〈書面会議〉

【資料】

- 資料1 第9次寒川町高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)(案)パブリックコメント実施結果
- 資料2 第9次寒川町高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)(案)パブリックコメント意見の要旨と町の考え方
- 資料3-1 第9次寒川町高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)(案)保険料検討資料
- 資料3-2 第9次寒川町高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)(案)
- 資料4 第9次寒川町高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)答申(案)
- 資料5 第8次寒川町高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)令和5年度上半期取り組み状況中間評価
- 資料6 令和5年度寒川町地域包括支援センター運営事業実績報告書
- 資料7 令和5年度上半期介護保険の状況
- 資料8 令和5年度上半期の給付状況
- 資料9 令和5年度上半期介護予防事業の実績

【提出用紙】

- ・令和5年度第5回寒川町介護保険運営協議会(書面会議)意見用紙

議事1～4までで意見等ある場合は令和6年1月26日(金)までに高齢介護課まで直接・メール・FAX等にてご返送ください。

1 議事

(1) 第9次寒川町高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)(案)パブリックコメントの結果と対応について…**資料1** **資料2**

令和5年12月8日から令和6年1月11日まで実施しました第9次寒川町高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)(案)パブリックコメント実施結果は**資料1**のとおりでした。提出数は6件、意見総数14件であり、意見の要旨と町の考え方は**資料2**に記載しております。

(2) 第9次寒川町高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)(案)の未確定事項について

…**資料3-1** **資料3-2**

第9次寒川町高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)期間内の介護サービス量の見込量や介護・福祉基盤の整備を更新しましたのでご確認ください。保険料については地域包括ケア見える化システム将来推計の自然体推計により介護サービス量の見込みを更新したことで、基準額5,200円を見込んでおります。

(3) 第9次寒川町高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)(案)諮問の答申(案)について…**資料4**

答申(案)についてはこれまで介護保険運営協議会でいただいたご意見を反映し作成しております。

(4) 第8次寒川町高齢者保険福祉計画(介護保険事業計画) 令和5年度取り組み状況中間評価について…資料5

第8次計画中間評価目次にある中間見直し分がある4施策について評価いたしました。

評価は1～2ページの評価の考え方とフェイスシートに記載されている目標の評価方法由を基準にしています。

1-(1)認知症施策の推進では、評価の方法が①「認知症相談件数が増えているか」②「認知症サポーター養成講座の参加者数が目標を上回っているか」③「認知症サポーターステップアップ講座の参加者数が目標を上回っているか」とあります。上半期の実績を見てみると①目標600件に対し701件②目標450人に対して101人③目標10人に対し69人となっています。③については下半期で講座開催予定があり、目標を達成する見込みがあるため、上半期としては目標達成と考え全体の評価は4といたしました。

2-(2)介護予防の推進では、①「参加者数が増加しているか」②「体力測定結果が現状維持または改善されている人の人数を評価」③「シニアげんきポイント事業については、平均活動人数が増加しているか」④「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施については、地域の通いの場に訪問し、介護予防講座等をおこなった数」⑤「一般介護予防事業について専門職の活用促進については、次年度事業策定時に専門職の意見を取り入れた事業数」となっております。①は新型コロナウイルス感染症の影響で人数制限を設けたことにより目標値には届かないものの、定員を超える申込がありました。また、講師派遣事業は新規の通いの場ができたことで前年度上半期に比べ40回394人の増となりました。②はすべての項目で7割以上の参加者が維持・向上しました。体力測定の結果で維持・向上を+1、悪化を-1とした場合でも第1クール+251第2クール+228、高齢者健康トレーニング教室+58でした。③は目標値には届いておりませんが前年同期比で平均活動人数+40%、6名増の20名、平均活動回数+28%、16回増の72回となりました。④は目標4回のところ5回実施しました。⑤は目標5事業に対して5事業行いました。よって上半期としては介護予防事業への参加が順調に伸びているため全体として評価は4といたしました。

5-(1)介護サービス・介護予防サービスでは、サービスを利用する場合にはケアマネジャーにサービス利用計画を立ててもらう必要があることから、「介護予防支援・居宅介護支援」の利用状況で、全体の利用状況を推測しました。

計画:全認定者のうち、56.51%の人がサービスを利用

実績:9月末時点の認定者のうち、54.17%の人がサービスを利用

受給率の実績値は、計画値の100.16%となっており、ほぼ計画通りとなっていますので評価は4といたしました。

5-(4)円滑なサービスの提供では、①「認定調査員研修の参加」②「申請から認定までの日数」③「住宅改修の全件点検」④「県介護保険審査会への審査請求件数」⑤「介護給付適正化取り組み事業数」なっておりますので、下半期で目標を達成する見込みがあるため、上半期としては目標達成と考え全体の評価は4といたしました。

2 報告

(1) 令和5年度寒川町地域包括支援センター運営事業実績報告書について…資料6

令和5年度上半期の相談件数は4,594件、令和4年度上半期と比較いたしまして239件の増加となっています。この数字は地域包括支援センターの南部相談所の相談件数も合わせています。南部相談室の相談件数は1,206件の

相談対応をしました。

訪問対応回数については精神疾患の方や連絡がとれず緊急を要する訪問や処遇困難事例等ケアマネジャーとともに同行訪問などを精力的に行いました。また、70歳以上の行政サービス等を何も利用されていない独居高齢者の訪問対応数の内訳表を記載しています。

権利擁護業務は、令和5年度上半期に156件の対応をしました。内訳は、虐待、成年後見制度の利用、困難事例等の対応です。

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務はケアマネジャー等の後方支援等の件数です。ケアプランの作成指導、担当者会議の開催支援など225件の支援を行いました。

ケアマネジメント業務は地域包括支援センターにおいて要支援の方のケアマネジメント業務を受けています。5年度上半期は延べ2,578件のケアプラン作成をしました。また、委託種別は下記のとおりとなっています。また、委託事業所数とは、要支援のケアマネジメント業務を一部地域のケアマネジャー事業所等に委託しており、296件のケアプランの作成をお願いしました。委託先事業所数は、9月末時点で14か所の事業所に依頼をして、作成の支援をお願いしています。

(2) 令和5年度上半期介護保険の状況について…資料7

① 高齢者人口・高齢化率について

高齢者人口13,521人・高齢化率27.5%となっており、第8次高齢者保健福祉計画の計画値と比較すると、高齢者人口は計画値を少し上回り高齢化率は少し下回っています。また、前期高齢者・後期高齢者に分けた場合、前期高齢者が人口は上回っており高齢化率は計画どおり、後期高齢者は人口・高齢化率ともに下回っています。

② 認定率について

全体的に増加をしており、計画値に対して要介護3・4・5以外上回っています。特に要支援1から要介護2の認定者の増加が顕著です。高齢化が進んだことや新型コロナウイルスの影響により社会活動が制限された結果、認定者の増につながったと推測されます。また、高齢者全体に対する認定率は約16.9%であり、暫定値ではありますが近隣市、茅ヶ崎市(18.1%)藤沢市(20.0%)平塚市(17.4%)と比べると低くなっています。

③ サービス別受給者数について

居宅介護サービス受給者数、地域密着型サービス受給者数ともに全体としては増加の傾向となっています。施設介護サービス受給者については微減となっています。

(3) 令和5年度上半期の給付状況について…資料8

各サービス別の利用者数の延べ人数、給付額、件数を3年間分記載しています。

計画値・実績値の全てひと月当たりの平均値を記載しています。

介護給付は前年度と比べて約105.0%。予防給付については約111.1%増加しています。全体としては、約105.2%との増となっています。

増加の要因は、認定者数がそもそも増えているということに加え、居宅サービスの一人当たりの給付費が増加していることが推測されます。また、介護予防サービスのうち介護予防訪問看護と介護予防通所リハビリテーションが伸び

ていること、地域密着サービスのうち介護予防小規模多機能型居宅介護で利用者が増加したことなどが考えられます。

給付費合計が令和3元年から令和5年度まで、ひと月当たり約1,800万円増えており、約107.8%増加しております。また、介護保険施設サービスは総額に対して約36%を占めており、こちらは3年間で約240万円減少しており、計画に対しやや多かった入居者数の適正化が図られていると考えます。こちらの項目は、特別養護老人ホームなどの給付費で一度使い始めますとなかなか下げられない項目となっていますので、後に説明する介護予防事業などを通じて、さらに抑制に努めていきたいと考えます。

(4) 令和5年度上半期介護予防事業の実績について…資料9

今年度も元気はっけん広場を集合版と在宅版の2種類行いました。上半期の延べ参加者数は前年度比39名増の1,270名でした。

介護予防講師派遣事業は、新たな自主グループができ、申し込み数が増加したことから前年度比40回394名増でした。

高齢者健康トレーニング教室は申込数は定員を満たしていましたが、欠席の影響などもあり前年度比25名減でした。

シニアげんきポイント事業は登録者が令和4年度末より2名増の82名。スタンプ押印数は95ポイント増の435ポイントでした。これは全体的に施設のボランティア受け入れ態勢がコロナ前に戻りつつあることやつどい処さむかわ等、新たなボランティア受け入れ先が増加したことによると考えられます。